

令和7年度 教育に係る学長表彰組織一覧

○表彰組織3件（推薦組織7件）

順位	表彰組織（実施組織）	プログラム名	推薦理由
1	システム情報工学研究群 数理・データサイエンス・AI教育推進室	データサイエンス・エキスパート・プログラム およびデータサイエンス応用基礎プログラムの 実施ならびに全学MDA教育体系の構築推進	国内で必要性が強く認識されている「数理・データサイエンス・AI教育」について、筑波大学内で先導的な役割を果たすとともに、全国的に見ても有数の成果を上げている。また、様々な教育レベルに対して適切なプログラムを構築するとともに、学生のみではなく学内外の多くの関係者にも波及する取り組みを展開している。
2	理工学群社会工学類	DAアルゴリズムを利用した学生の希望と適性を 活かす研究室配属の構築	DAアルゴリズムを用いたマッチングは、学生の希望と適性を最大限に反映し、不本意な配属や未配属を解消することを目的とする研究室配属の取り組みである。DA方式を導入して以降、第1～第3希望への配属率は毎年80%以上を維持している。 DAアルゴリズムには実装にあたり留意すべき点も存在するが、それらの克服策は公開文書として整理されており、他組織への展開も期待できる。本取り組みは本学の教育の質の向上に大きく寄与していることから、推薦する。
3	生命環境学群生物資源学類	学類学習支援室による入学前教育・初年次教育	生物資源学類では学類学習支援室を設置し、主に推薦入試合格者を対象に2008年度から入学前教育を行っている。これにより特に早期に入学が決まった高校生の学習意欲低下を防ぎ、入学後の学びのアップデートに効果を上げている。この成果は初年次教育として新入生オリエンテーション中、学類独自に継続実施している数学プレースメントテスト結果に反映されている。具体的には、学習支援室開設当初は前期・後期試験入学者よりも低かった平均点が、2019年度からはほぼ遜色がない値まで上昇し、現在まで継続している。入学前教育では、在学生をほぼ1:1でピア・サポートさせる体制を取り、在学生と新入生との絆を深め新入生の入学時の不安を和らげる効果も狙っている。また、在学生に対しても入学時の意欲と期待を思い起こさせること、上級生としての意識を醸成させること、により勉学意欲の向上や学類生の学年間のつながり強化も担っている。
計		3 組織	